

【第35回上野の森美術館大賞展観賞会の様子】

5月8日(月)、まだ初夏も浅いのに、汗ばむような陽気。

例年、参加者の遅刻(や集合場所の勘違い)などがあるのに、今回は、1時約束の10分前には全員集合。

何となく、古稀の所為でせっかちになったかと不安にもなるが、さにあらず、久しぶりの再会に皆さん意気込みが違っていたので、五十嵐画伯の引率で、いつものとおり画伯手配の特別入場券で、総勢9名早速入場。

おっと、その前に、五十嵐画伯またまたの入選おめでとうございます。

今回の画伯の作品、引き続きテーマは蜂、タイトルの「巣領域」から推測するに、なにか蜂のテリトリーを表現していると思われます。ただ、前作との違いをコメントすれば、特徴の黄色が占める部分が少なくなって、一部に描かれていた風景が見当たらなかったこと。画伯の作品の前で、参加者全員で記念撮影。

実は昨年小生は、鑑賞会に遅れて後日一人で鑑賞、その時写真を撮って、会場の女性に叱られました。今回は画伯の撮影許可

会場を出て、上野のお山を横切り、祝賀会の会場飛鳥へ。

途中、不忍の池のボート乗り場は、大型連休明けの月曜日とあってがら、仕事に行かなくていい自由な古稀であることの優越

祝賀会は、参加者8名、早速「乾杯!!」、毎度思うのですが、このうまいビールは五十嵐君が連続して入選してくれるお陰です、

気の所為か、皆さん、年々酒の量は少なくなっているように思いますが、磐高時代の思い出話や恩師を懐かしんだりこき下ろしたり

飛鳥からは、つまみとウーロン茶とデザートの大サービスあり、ママさんいつもありがとうございます。

今回は、絵画大賞を取って150万円の賞金を獲得するとの画伯の決意表明(?)があり、その際には祝賀会は東天紅の最上階で

五十嵐画伯おめでとうございました。ますますのご活躍をお祈りします。

いつものことながら、幹事の皆さんお世話様でした。

(高木佑一拝)

添付写真は原君のスマホで撮影

左側から猪狩恒男君・高木佑一(私)・藁谷友治君・石澤宏一君・五十嵐画伯

右側から原雅英君・金成幸伸君・高萩良郎君・添田稔君